

AA

日本ニュースレター No.94

## 代議員について 代議員 AAで一番大事な役割かもしれません

少しずつではあるが「グループの棚卸し」を行ったという情報が届いている。

常任理事会もテーマを持ってこの作業を行っていることは理事会の議事録をご参照いただきたい。

メンバーの皆さまは「代議員 AAで一番大事な役割かもしれません」というパンフレットをご存知だろうか。1999年10月31日に発行されたものである。

『グループが一番適任のメンバーを自分たちの代議員に選ぶことで、グループの将来を、そして、AA全体の将来を確実に守る事になる』

代議員は英語で「G.S.R. = GENERAL SERVICE REPRESENTATIVE」と表され、直訳すれば全体サービスの代表者(代理者)となるのか。

評議会も「GENERAL SERVICE CONFERENCE」となっている。

AAの将来、グループの将来すなわち、それぞれのメンバーの将来を守る大切な仕事が生徒の役割りなのである。

「代議員はホームグループとAA全体とをつなぐ橋渡しの役割りをする。1953年に話を戻そう。この年に、まったく新しいタイプの任されたしもべとして、「グループ連絡員」を設けるという提案がなされた。ただし連絡員は、各グループと「本部」(現在のゼネラルサービスオフィス)との間で最新の情報を交換するパイプ役に過ぎなかった。そのやくわりは現在でも代議員の大事な仕事である。しかし、代議員という名称の通り、今はもっと大きな責任を伴うものである。具体的には、代議員は事実だけでなくアイデアや意見も伝えていく。こうして代議員を通して伝えられたグループの良心が、評議会で表明される「フェロシップ全体の集積された良心」となっていく。AAのあらゆることと同様、それはシンプルで一連のステップを通して有効に働くものである。」

現在、J.S.O.(正確に表現するとJAPAN GENERAL SERVICE OFFICE = J.G.S.O.)には、384のグループから代議員の登録が届いている。各グループは日本のAA全体に関わる問題を全国代議員集会で論じる時の議決権を持っている。

G.S.O.は各国にただ1つ設置できるサービスオフィスで、その国全体のAAサービスに関わることであり、各AAグループへ書籍出版物を始め、様々なサービスを、また情報や資料や経験を財産として蓄積し、提供している。AA以外との関わりもそれぞれの分野で行っている。

グループの良心を付託された代議員は評議員を選出し評議会にその良心を運んでもらう。評議員はB類の常任理事を選出する。伝統2のとおり奉仕を任されたしもべに権限を付託して行くことが逆に最終的権威がAAグループにあることを物語っているのであらう。

1988年アメリカ、カリフォルニアのあるインターグループオフィス発行のニュースレターに掲載された代議員プレアンブ

ルをニューヨークG.S.O.発行のBOX459(1989vol.35, no. 4-Aug/Sept)が紹介した。

The GSR Preamble

We are General Service Representatives. We are link in the chain of communication for our groups with the General Service Conference and the world of AA.

We realize the ultimate authority in AA is a loving God as He may express Himself in our group conscience. As trusted servants, our job is to bring information to our groups in order that they can reach and informed group conscience. In passing along the group conscience, we are helping to maintain the Unity and Strength so vital to the Fellowship.

Let us, therefore, have the patience and tolerance to listen while others share, the courage to speak up when we have something to share, and the wisdom to do what is right for our groups as a whole.

## 代議員プレアンブル

私たちはゼネラルサービス代議員である。私たちは、自分たちのグループをゼネラルサービス評議会、そしてAAという世界に結びつけるコミュニケーションの鎖の輪である。私たちは、AAにおける最高の権威はグループの良心のなかに自分を現される愛の神であると理解している。任されたしもべとして、私たちの仕事は情報をグループへ伝えることである。そうすることで、グループは情報を伝えられたグループの良心に到達することができる。グループの良心を受け渡していくことによって、私たちはこの共同体にとって不可欠な一体性と力を維持する助けになるのだ。

それゆえに、他の人が分かち合っているときにはそれに耳を傾ける忍耐と寛容を、私たちに分かち合うことがあればそれを発言する勇気を、そして私たちのグループ全体のために正しいことを行う賢さを持つようにしようではないか。

(BOX459, vol.35, no.4 Aug/Sept1989より再録, 翻訳

AA日本出版局)

このプレアンブルを使った「代議員ハンドブック」が東北の宮城地区で作成され、J.S.O.に届けられている。これについての詳細はJ.S.O.に連絡して欲しい。

代議員が大切な役割であることはご承知のとおりであるが、経験の述べ伝えや輪番制の原理を活用し続けることは難しいことだろう。しかしAAの目的を達成するためにはどうしても必要な、避けて通れない作業のようだ。

AAのサービスが今なお苦しんでいる人たちに届けられるためには、AAグループが機能して行くことが必要で、その最も大事な役割りが代議員なのだろう。それぞれのグループで、代議員も代議員を選出したメンバーも一緒に考えていただければ幸いである。

J.S.O. 野崎

1981年第31回アメリカ・カナダ評議会のテーマが「AAの棚卸し」ということだった。

そして12年後1993年第43回アメリカ・カナダ評議会が、「AAの棚卸し 評議会機構」というテーマで開かれた。

その最終報告書より、今回の日本ニューズレター94号にその一部を掲載する事ができたが、報告書ができるだけ早い機会に翻訳し、皆さまに活用していただけるようにしたいと考えている。もちろんアメリカ・カナダとは歴史も規模もけた違いである事は事実であるが、AAの原理は世界中どこでも同じであると信じている。 J S O

AAの棚卸し 評議会

## 第43回アメリカ・カナダ評議会

AAの棚卸し 評議会機構

1992年4月から93年4月にかけての一年間は、「棚卸しの年」ということで、AAの隅から隅までそのことでもちきりになったようだ。第42回の評議会が次回の評議会テーマを「AAの棚卸し 評議会機構」と決定したそのときから、グループ、地域、地区、地域サービス委員会、常任理事会、AAWS・グレープバインのボード、さらにGSO・グレープバインスタッフといったアメリカ/カナダサービス機構の中のあらゆるサービス関連の委員会が、「恐れずに、徹底して」自分たちの棚卸しを行なったのだ。この棚卸しは、地域、地区、インターグループ等のニューズレターで概要が伝えられ、手紙やFAX、または直接顔と顔をあわせて分かち合いが行なわれた。

そのような経過を経て、第43回AAアメリカ/カナダ評議会は、4月18日から23日にかけてニューヨークのクラウンプラザホテルで開かれ、評議会メンバーによって過去一年間の経験と力と希望が分かち合われたのである。

そもそも、この評議会とはなんだろう？ 評議会メンバーとはどういう人なのか？ 1週間もかけて一体なにをするのだろう？ 新しい人たちにどうやって評議会の説明すればよいのか？

年に1度開催される評議会とは、AAグループで行なわれているビジネスミーティングに似ているが、もっと長い時間をかけ、取り上げる問題も数多く、もっとずっとやかましいものなのだと言われる。

全体サービス常任理事のスタンレイ・Sによると、「自分の性格上の欠点もろに試されるところ」であり、以前、会場が激烈な議論で熱きったとき、ある評議員が彼のほうを向き、実に共感しながらこう叫んだと言う。「なんだよ、これじゃあまるで飲み屋のけんかじゃないか！」

オクラホマ州の評議員、ジーン・Bは、評議会というとインディアンへの言い伝えを思い出すと言う。真実をあらわす鷲の羽根を中心に、たくさんのインディアンが輪になって座る。そこでひとりひとりが自分のことばでその羽根を言い表すのだが、それぞれの印象や見方はみな違う。けれども、真実は決して変わらないのだと。

評議会に参加する人とは？ 133名の評議会メンバーは、ア

メリカ/カナダの91地域を代表する各評議員、21名の常任理事会常任理事（アルコール14名、ノン・アルコール7名）それにAAワールドサービスとグレープバイン・ボードの専任理事、GSO・グレープバインのスタッフメンバーである。

今回の平均年齢は43歳で、最年長者75歳、最年少が34歳。ソプラエティの平均年数は15年で、最長35年から6年まで。サービスに関して言えば、平均年数12年で、最も長い経験者が30年、短い者は4年だった。

では評議会は何をするところなのか？ この1週間はスケジュールがびっしりとつまり、毎朝9時に始まり（もっと早く始まる時もある）終了は夜の9時や10時になる（委員会によっては、午前零時を回ってもさらに数時間続くこともある）。

第43回評議会は、公式には日曜の朝、GSO所長、ジョージ・Dが参加者の出席を取るところから始まり、つぎに、GSOスタッフのコーディネーター、パット・Rがこれから1週間の予定を説明し、評議員チェアパーソンのアルバータ/北西地方のエレイヌ・Sが開会のあいさつ、そして東部中央地方の常任理事、ジャン・Wが基調演説を行なった。

この日の夜はフェロシップのための時間である。オープニングディナーには、元常任理事、元評議員、AAの友人（関係者）などが多数集まり、現評議会メンバーとの友好や、彼等どうしの旧交が深められた。ディナーに続いてはカンサスのディック・BのチェアでオープンAAミーティングが行なわれ、南西オハイオのダイアン・Wが司会を務めた。スピーカーは、キャロライン・B（NYハドソン/モホーク/パークシャー）、チャゴ・R（プエルトリコ）、デビッド・O（全州選出常任理事・カナダ）、マイケル・M（AAWS専任理事）、そしてGSOスタッフのジョーニー・Mである。

月曜の午前は、常任理事会議長のA類（ノン・アルコール）常任理事、マイケル・アレクサンダーとGSO所長ジョージ・Dが共同議長となり、まずは常任理事会報告と委員会報告が行われた。月曜から水曜の午後は、議事項目（33ページの委員会スタッフ報告を参照のこと）について話し合うために、11の常設の評議会委員会が開かれ、評議会の全体会議に提出する勧告案を作成した。その勧告案の中からかなりの案が評議会アドバイザリーアクション（勧告決議）となっている（13ページ参照）。

議事プログラムのなかには、新地域評議員43名による地域ハイライト（57ページ参照）やワークショップ（11ページ参照）、全体の分かち合い、そしてプレゼンテーション/ディスカッションなども含まれている。

火曜日の夜は評議員のみの会合が開かれ、カリフォルニア北部沿岸地域のダイアン・Wが1994年評議会の評議員議長に選出され、西ペンシルバニアのロイス・Cが議長代理となった。

この1年の間、メダルについての評議員特別委員会が何度か会合をもったが、委員会報告と勧告が評議会に提出された。これについてはこの報告書の9ページに掲載されている。

常任理事の選出は水曜日の午後に行なわれ、南東地方の新常任理事としてジャクリン・Mに替わりジョージア州デカチ

ユアのゲイ・Gが、ミシガン州カラマンズーのドナルド・Wがジャン・Wを引き継いで東部中央地方の新常任理事に。カリフォルニア州インペリアルビーチのラリー・Nがジョン・Qのあとを全州選出常任理事に。ニューヨークのジェイン・Sがスタンリー・Sを継いでグレイプバイン全体サービス常任理事として。AAWS 常任理事ハロルド・Gの後任には全体サービス常任理事のマイケル・Mが就任した。

3名の A 類常任理事もこの第43回評議会を持って任期満了となった。1988年に常任理事会議長に選出されたマイケル・アレクサンダーも、AA 全体に対する長年にわたるサービスに終止符をうち、引退することになった。マイクは、1976年から1985年まで常任理事としてサービスを行い、1988年に今度は議長として評議会に戻ってきた。新議長には、カリフォルニア州エルドラドヒルズのジム・エステル Jr. が就任する。ジムも AA のサービスにはなじみの深い人で、1977年から1986年まで常任理事としてサービスをした人である。1984年に選出され、常任理事会財務をつとめたロバート・モースの後任として、ニューヨークのゲイリー・グリーンがあとを継いだ。また、1986年から A 類常任理事に就任したエイモス・リードは、健康上の理由により、任期満了を待たずに退任することになったが、後任については年内は空席のままにいくことになった。

「ミーティング、ミーティング、ミーティング…」、会場に入ったとたんに AA メンバー全員が、まるで呪文のように、そして呼吸のように、ミーティングという言葉を自然に口にする。そこで評議会メンバーの有志が GSC (評議会) セレニティーグループをつくり、毎朝 7時半からミーティングを始めた。アラスカの評議員 O.B. カリーがチェアパーソンになり、メリーランドのジョン・C がセクレタリーならびに会計をつとめた。毎朝 AA の出版物の一部を読み、テーマはそこから取った。AA の伝統 7 にのっとり、毎朝献金箱が回され、集まったお金は最終日に GSO に献金された。

評議会が始まる前の金曜日、太平洋沿岸地方の評議員がみんなニューヨークのキップス・ベイ・グループのミーティングに出かけた。けれども到着した時間がかなり早すぎたため(おそらく時間を間違えたのだと思うが)、会場でグループのメンバーたちを迎えるかたちになり、全員でミーティングのセッティングを手伝った。

西ニューヨークの評議員テリー・ワイナーは、毎晩一日を終える最後にニューヨーク・アラノン・ハウスの深夜ミーティングに出席した。昨年も毎晩そうしていたのだという。テリーはそこを「ホームグループから遠くはなれたホームグループ」と呼んでいる。ただ、AA の集まりにはどこでも必ず用意されているように、全体会議の会場や各委員会の会場のドアの外にも、常にいれたてのコーヒーポットが用意されていた。

評議員とともにニューヨークにやってきた家族や友人のためには、AA とアラノンのメンバーが、まるまる 1 週間、ボランティアを買って出て、いろいろな計画を準備した。評議員の多くが、評議会の始まる数日前からニューヨークに到着しているため、歓迎ルームがニューヨーク・アルコホーリクス・アノニマス・インターグループ・アソシエーションによって手配された。ここでも、つねにコーヒーポットが準備され、地元の AA メンバーのボランティアたちが、必要な情報、基本的な AA の分かち合いやフェロウシップを提供した。

火曜日と木曜日の休憩時間には、評議員が参加できるように、GSO のノンアルコホーリック職員のボブ・グレッグソンとビル・ブレナンがコンピューター・ソフトウェア・パッケージのデモンストレーションを行った。これは、地域がそれに合った機器を備えれば、GSO のコンピューターのメインフレームからグループ情報を引き出せるというソフトウェア・パッケージである。

金曜日の夕方、評議会はいつもの方法、つまり平安の祈り(英語、フランス語、スペイン語)をもって、公式に閉会となった。

翌土曜日の午前中は、クロージングの朝食会が行なわれ、任期満了の常任理事たちが話をした。マイケル・アレクサンダーは、まだ若き弁護士だった 40 年以上も前から AA とのつながりが始まったのだが、常任理事会議長としてはこの日が最後の彼の話になった。マイクは、「過去の、現在の、そして未来の男性、女性、子どもたちのために、ひとりひとりがこの AA という集まりを作ってきました。いわゆるバタフライ・セオリーのように、ひとりのメンバーの行動が、やがて AA の潮流を変えるほどの力になりうるのです」。あふれる感謝の気持ちに圧倒されながらも、マイクはこう話した。

次に今回で任期を終了する常任理事がひとりひとり話をした。地方常任理事、ジャクリーン・M (南東) とジャン・W (西中央部)、全体サービス常任理事のハロルド・G とスタンレイ・S、全州選出常任理事のジョン・Q である。5 人とも、このような役割ができた心からの感謝の気持ちをつぎつぎに述べた。

任期を終える A 類常任理事のうちで 2 名は参加できなかったが、ふたりともメッセージを寄せてくれた。ロバート・モースは、9 年前に常任理事になったときには、「まだ子どももおらず、髪も白くなっていなかった」のに、今では「3 人の子どもに恵まれ、頭はすっかり白くなってしまった」と書いてきた。その間、財務を担当してきたが、任期中に「これまでで最高額の黒字と、最悪の赤字」を経験した。ボブ(ロバート)は、やはり A 類常任理事だった故ロバート・モース Sr. を継いだ二世常任理事である。

エイモス・リードのメッセージは、そのなかでこう述べている。「アルコホーリクス・アノニマスはアルコホーリックがこのプログラムを使いながら健全な生き方を取り戻し、その状態をキープしていける、ベストで、唯一と思われる方法を提供するところであると、私は信じてやみません。……謙遜と仲間へ手を差し伸べるといった意義ある行動とが一体になったグループの交流(愛)が、自己に対する責任と結びついています。それに代わるものはありません。実にかげえのないことです。……ハイパーパワーの存在はきわめて重要なものです」

「ある意味で皆さんはとても幸運です。役割を終えても、私は心のなかでいつも皆さんと共にいるつもりです。でも皆さんは役割を終えてもグループの役割に戻り、目に見える現実のサービス活動に戻ることができます。これこそ本物の恩恵です。私にはそれがなく、とても残念です」ビル・モースのこの言葉は、第 43 回評議会メンバーがそれぞれの地域に戻ったとき、まさにふさわしいメッセージとなるだろう。1993 FINAL REPORT (評議会報告書)より再録、翻訳; J S O

### 第3回 全国サービスフォーラムのお知らせ

テーマ  
**「サービスのよるこび」**

2002年11月3、4日(日、月)

分科会テーマ  
献金、メッセージ、地方のサービス、初めての役割り

かんぼの宿「郡山」  
1泊2食参加費共 ¥ 10,000

第3回サービスフォーラムの実行委員会が今秋11月3、4日の開催を目指し着々と準備を進めている。全国のメンバーに募ったアンケートは予想をはるかに上回る180通余りが実行委員会に届けられたという。限りある時間を有効に使う為に委員たちは頭をひねっているようだ。

受付開始及び締切り **8月12日～10月18日**  
(各グループ代議員へ申し込み用紙送付済み)

#### 交通案内

東京～郡山 90分  
仙台～郡山 40分  
山形～郡山 90分  
磐越自動車道磐越熱海IC～3km(県道熱海中/沢線)  
東北自動車道郡山IC～10km(国道49号線)  
福島空港～郡山駅 60分(リムジンバス)



#### AAの伝統劇のお知らせ

昨年の関西ラウンドアップでメンバーが作った伝統劇が上演され、大熱演に大きな拍手が贈られたようだ。現在、ボランティアの翻訳メンバーに第16回WSM開催の時にニューヨークGSOのスタッフによって上演された伝統劇のシナリオの翻訳をお願いしている。今秋に開催される各地域のイベントのプログラムに入れてみてはいかがだろうか。詳細はJSOまで



各地域の情報をぜひJSOに届けていただきたい、これからの予定ではなく、すでに実施したセミナー、フォーラム、ワークショップなどの結果?や反省点などをお願いしたい。もちろん実行したメンバーからたくさん寄せられる事と思うが、参加したメンバーの率直な感想、意見、提案もお聞かせ願えれば幸いである。

#### AA日本出版局からの案内

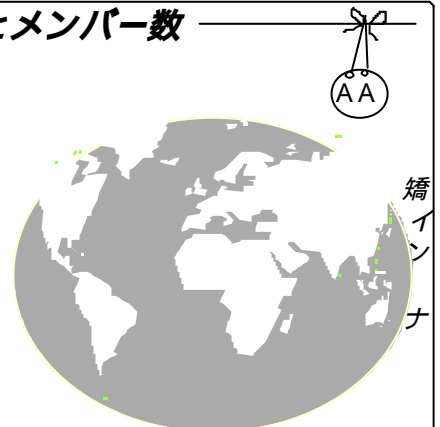
イラスト付きパンフレット「ようこそAAへ」が出来ました! 全23ページ。このパンフレットのオリジナル版はある地域のグループによるものです。簡単な文章と親しみやすいイラストで好評を得ていました。今回は、第5回評議会の決定を受けて、評議会で承認した出版物にしているために全国のメンバーに紹介する目的で発行しました。**1部につき100円を協力金としていただきます。**



「ようこそAAへ」19ページ  
12番目のステップ活動より

#### 2002年1月現在・世界のAAグループとメンバー数

|                    | グループ数          | メンバー数            |
|--------------------|----------------|------------------|
| アメリカ合衆国            | 51,245         | 1,160,651        |
| カナダ                | 4,965          | 97,124           |
| 小計                 | 56,210         | 1,257,775        |
| 正施設内               | 2,531          | 66,036           |
| インターナショナルリスト(船員など) |                | 105              |
| バー                 |                | 315              |
| 合計                 | 58,741         | 1,324,231        |
| ダ以外                | 41,390         | 891,062          |
| <b>総合計</b>         | <b>100,131</b> | <b>2,215,293</b> |



#### AA日本ニューズレターNo. 94

編集・発行: AA日本ゼネラルサービスオフィス(JSO) 〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 4F  
TEL:03-3590-5377 FAX:03-3590-5419 ホームページ <http://www.cam.hi-ho.ne.jp/aa-jso/>